

意見交換会における主な意見と「基本構想」への反映状況

県民文化部 文化政策課

県政タウンミーティング（北信）：87人、南信：25名、東信：11名、中信：21名、美術関係者：11名 合計：155名

	意見	基本構想への反映状況	頁
コンセプト	○県立美術館にしかできない展示を企画すれば、全県から足を運んでもらえる。	展覧会の企画は、準備委員会で検討	12
	○ランドスケープ・ミュージアムを強調して、話題性のある美術館にしてほしい。	重要なコンセプトと認識 基本設計で実現に向け検討	2
	○海外からの観光客が、美術館・博物館に来るような集客を考えてほしい。	集客戦略として、準備委員会で検討	12
美術による学び	○子どもを対象にした教育プログラムを他の美術館でも提供できる仕組みを作れば、信濃美術館が全県的な存在になれる。	・誰もが学べる美術館教育プログラムの充実 ・学芸員による地域や学校へのアウトリーチ活動を展開	5
	○身近に美術品を鑑賞する機会や表現する場が必要。美術館のアウトリーチ活動に力を入れてほしい。美術が苦手な人向けのワークショップを県内各地で開催してほしい。		
県内美術館との連携	○南信地域の人々が、長野の美術館に行くか問題。南信地域の美術館と連携した巡回展などの取組に力を入れてほしい。	県内美術館と連携・協働した巡回展の開催や展覧会の共同企画を実施	6
	○伊那あたりでも信濃美術館の展示が観られるようにしてほしい。		
	○自分の館には現代美術のスタッフがいないが、住民からは現代美術のニーズがある。自分のところでできない展覧会を信濃美術館と共同で企画できるとありがたい。		
	○県立美術館の多くは、調査・研究に充てる面積が十分確保できていない。美術館でフォローできない資料は他の美術館や歴史館、図書館等と連携して提供すればよい。今の時代はリサーチや文献研究が大切な時代。	アート・ライブラリーを県立長野図書館や県立歴史館等と連携して整備	6
	○県内各地の美術館は学芸員が不足しており、調査・研究に時間を割けない。信濃美術館の学芸員に支援してほしい。	学芸員の充実を含めた調査・研究を担う専門性の高いスタッフを配置	11
コレクション	○長野県出身の芸術家をコレクションポリシーとして大事にしてほしい。	コレクションポリシーの具体化は、準備委員会で検討	12
	○まだ評価を受けていない作家を発掘する仕組みを考えてほしい。		
展示室・収蔵庫	○美術館の本質的な部分にしっかりお金をかけてほしい。	・常設展示室を新設 ・全国規模の巡回展を誘致できる広さの展示室を設置 ・国宝や重要文化財の展示・管理に支障のない建物性能を確保 ・バックヤードの可視化は基本設計で検討	9
	○世界水準の美術作品の鑑賞ができる展示スペースが整備されることを期待している。		
	○大きな展覧会の際には、常設展示室を使えるように柔軟な使い方ができるとよい。		
	○収蔵品が4,000点もあるのに常設展示室がないのは残念。		
	○美術館の収蔵庫は展示室以上に大切である。		
	○文化財保護の砦の役割が美術館・博物館にはある。県民はバックヤードの厚みにお金を投資する。バックヤードの可視化を考えてほしい。		

	意見	基本構想への反映状況	頁
県民ギャラリー	○県民の作品を展示できる県民ギャラリーの充実が必要である。	・ 県民ギャラリーを新設 ・ 講堂、ワークショップ室・アトリエは多目的利用できる仕様	9
	○さまざまなことに使える貸しスペースを作してほしい。		
	○広いスペースをお願いしたいが、使わない時のことも考えて検討してほしい。		
	○県民ギャラリーは、ワークショップ室やアトリエを含めてフレキシブルな空間として、教育関係の施設として美術館とは別棟にしてほしい。		
駐車場・アクセス	○駐車場は美術館の近くに確保し、料金はかからないようにしてほしい。	公園管理者である長野市と検討	8
	○駐車場がどこにあれば地域住民や来訪者にとってよいか考えてほしい。		
	○気軽に美術館に行けるように、駅から美術館行きのバスがあるとよい。	集客戦略として、準備委員会で検討	11
	○善光寺から美術館の場所が分かると人が流れるのではないか。	善光寺と城山公園の回遊性を高める周辺整備を実施	8
人材確保	○アトライブラリーには、専門的な知識を持ったライブラリアンが必要。	学芸員の充実を図るとともに、美術教育や調査・研究を担う専門性の高いスタッフを配置	11
	○優秀な学芸員が来てくれる体制づくりが不可欠。		
開館時期	○今の収蔵庫は目も当てられないほど悲惨な状態。一刻も早い信濃美術館の改築をお願いしたい。	施設の著しい老朽化から一刻も早い整備を進め、平成33年当初からの開館を目途にしつつ、基本設計を経て確定	11
	○東京オリンピックの翌年が善光寺御開帳。オリンピックから長野に注目が集まる機会になる2021年の開館を目指してほしい。		
県民参加	○設計段階でも意見交換会を開催してほしい。また、開館後も意見交換の場を設け、運営面の課題を探してほしい。	設計段階からワークショップ等を行い、広く県民の意見を反映	12
	○県民からの寄付を募ったらどうか。なるべく大勢の人に応援してもらおうことが大切。	寄付募集の仕組みは、準備委員会で検討	